

1 平成 28 年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋こども会議への助成を行う。

② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、窓口相談や各種情報提供をはじめ、在住外国人等への支援を行う。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、留学生宿舎の管理運営や外国人学生支援を行う。

④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給、留学生と企業との交流サロンや青少年相互派遣等を行う。

(2) 事業報告

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

ア 福岡アジア文化賞

アジア地域の学術研究者と芸術文化の育成・発展に顕著な業績をあげた個人または団体に対し、その功績を顕彰した。

(ア) 主 催 福岡市・(公財)福岡よかトピア国際交流財団
運営母体 福岡アジア文化賞委員会

(イ) 事務局 福岡市総務企画局国際部内

(ウ) 受賞者 大賞、学術研究賞、芸術・文化賞 各1名

(エ) 市民フォーラム 各受賞者1回 計3回(9/17、9/18)

(オ) 学校訪問 大賞受賞者 1校(高等学校 9/15)

学術研究賞受賞者 1校(中学高等学校 9/16)※高校生が参加

芸術・文化賞受賞者 1校(高等学校 9/15)

(カ) 国際交流基金アジアセンターとの共催企画

・歴代受賞者(2013年受賞者)によるショートフィルム共同制作ワークショップと完成作品上映会&トークショー(4/15~4/17)

・歴代受賞者(2003年受賞者)による講演会

(7/20 東京講演会, 7/22 学校訪問(九州大学での講演), 7/23 市民講演会(福岡))

・歴代受賞者(2003, 2012, 2016年受賞者)によるシンポジウム

(11/25 フィリピン(マニラ))

・2016年受賞者による東京講演会(9/20)

・海外メディア向けプレスツアー(9/15~9/16)

イ 「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」助成

アジア太平洋各地の子どもたちとの異文化交流による国際理解を推進するため、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」事業へ助成を行った。

(ア) 主 催 NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡

(イ) 事業内容 派遣(春・7か国, 夏・5か国, 210名) 招聘(34か国・地域, 303名)

② 市民の国際交流を促進する事業

ア 国際交流活動助成

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市の国際化を推進するため民間団体の国際交流事業等に対して助成を行った。

(ア) 国際交流活動助成

a 助成の金額及び対象となる経費

【一般型】 助成対象経費の5割以内で、1件30万円以内

【チャレンジ応援型】 助成対象経費の8割以内で、1件10万円以内

b 募集期間 1月及び7月

c 助成件数 9団体(一般5件 チャレンジ4件)

d 助成額 1,890,700円

(イ) 国際交流活動人材育成費助成

a 助成の金額及び対象となる経費

1団体あたり1年度の助成額は2万円まで

対象団体の運営従事者が、当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費、教材費、交通費、宿泊費等

b 申請時期 受講する講座等開催日の1月前まで

c 助成件数 2団体

d 助成額 40,000円

イ ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。

(ア) ホームステイ・ホームビジット

外国人が日本の家庭に滞在・訪問することを通して、お互いの文化を理解し交流を深める機会を提供する「一般交流」と、外国人学生と市民が家族ぐるみの交流を行う「学生交流」により相互理解と友好親善を図るために、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

a 登録家庭数 71家庭

b 利用者数 59名(10か国・地域)

(イ) 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じ福岡市のイベントや学校における保護者面談などに派遣した。

a 登録者数 実数117名 延べ137名(複数言語での登録者計)

b 登録言語数 15言語

c 延べ活動者数 89名

(ウ) 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、福岡の文化・歴史、国際交流事業、異文化理解や外国人支援等のボランティア活動に必要な知識や情報を提供するため、研修会を実施した。

- a 日 時 平成 28 年 11 月 26 日 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00
- b 会 場 福岡市博物館 講座室
- c 内 容 第 1 部 講座「福岡再発見」
講師 福岡市博物館 主任文化財主事 本田浩二郎氏
第 2 部 常設展示室他見学
第 3 部 懇親会 (意見交換会)
- d 参加者 21 名

ウ 語学等を通じた国際理解

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする教室を開催した。これにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を持つ人材を育て、かつ言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

- a 共 催 福岡市
- b 内 容 中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語等 15 言語、30 講座を実施
- c 定 員 各クラス 20 名
- d 講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍する、または福岡市内に在住の留学生
- e 受講者数 536 名

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 アンスティチュ・フランセ九州内
- c 実施時期 年 4 回 (春、夏、秋、冬) 各 3 か月
- d 講座数 424 講座
- e 受講者 2,275 名

(ウ) 日本語ボランティア養成講座

市民センター (各区生涯学習推進課主催) や民間ボランティア団体が運営している日本語教室 (市内 45 教室) において、在住外国人の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施した。

- a 実施日 平成 29 年 2 月 2 日 ~ 3 月 22 日の期間中に全 9 回
毎回 19:00 ~ 20:30
- b 会 場 福岡市国際会館 4 階
- c 主な内容 ・ 大学教授による講演 (多文化共生社会と地域日本語教室)
・ 福岡市出前講座 (福岡市の国際化の現状について)
・ 日本語教育の基礎を学ぶ講義
・ 日本語教室での授業を学ぶ実習
・ 地域の日本語教室のボランティア、日本語学校の講師や日本語教室で学習した外国人学習者を招いたセミナー
・ 日本語教室の見学 (講座時間外、各受講生が希望する教室を見学)
- d 受講者数 35 名

(エ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会と共催で、コンテストを開催した。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
構成団体 日本語学校及び日本語教室 24 団体
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市
福岡外国人学生支援の会
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施日 平成 28 年 10 月 16 日
- d 会 場 福岡市市民福祉プラザ
- e 出場者 22 名
- f 聴講者 231 名

(オ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県内の小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、(公財)福岡県国際交流センター、
(公財)北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 平成 28 年 6 月～平成 29 年 2 月
- d 派遣人数 延べ 17 校へ 40 名(福岡市内)

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

(ア) 地球市民どんたく

市民の国際協力・交流に対する理解と支援を得るとともに、福岡を拠点に国際協力・交流を行う NGO 等のネットワーク形成を図ることを目的として、団体の活動紹介ブースの設置やワークショップ等を行った。

- a 主 催 地球市民どんたく実行委員会
構成団体 参加団体(15 団体)
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市
独立行政法人国際協力機構九州国際センター(JICA 九州)
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 平成 28 年 10 月 30 日
- d 会 場 天神中央公園・アクロス福岡
- e 来場者 約 5000 名

(イ) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織で、各団体間の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団等 73 団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 総 会 4 月(通常)
連絡会 4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月
- d 参加人数 164 名(会員参加 124 名 一般参加 40 名)

オ 国際交流推進

姉妹財団である釜山国際交流財団と連携し、同財団が主催するグローバルギャザリング 2016 (5月21日)に参加した。また、国際交流推進の参考とするために、諸外国、姉妹・友好都市等の情報収集などを行った。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

ア 一般相談・情報提供

レインボープラザ（移転後は福岡市国際会館）において、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供ならびに外国人への生活情報の提供・相談などを実施。また、ホームページ上においても随時、情報を発信した。

(ア) 英語、中国語、韓国語、日本語対応による窓口相談

a 来場者数 34,994名（うち外国人：11,061名）

b 窓口相談数 7,320件（うち外国人：2,472件）

(イ) 外国語報道番組(NHK-BS1)のTV放映、無料インターネットの利用提供(H28.9月末まで)

a インターネット利用者数 1,284名（平成28年10月以降は無料WiFiを提供）

(ウ) 図書、新聞、パンフレット等の資料収集・提供

a 図書貸出数 379冊

(エ) 外国語情報紙(英・中・韓)の発行

a 英語版 5,000部/隔月、中国語・韓国語版 各2,200部/隔月

(オ) ホームページ及びメールマガジンによる情報提供

a メールマガジン登録者数 1,662名

(カ) 区役所窓口での通訳支援(出張レインボープラザ)

a 内容 外国人留学生等の転入届、国民健康保険等の手続き補助

b 派遣先 西区役所西部出張所

c 派遣時期(人数) ・平成28年4月 1日～5日 4日間（延べ6名）
・平成28年9月20日～29日 7日間（延べ16名）
・平成29年3月28日～31日 4日間（延べ7名）

イ 外国人専門相談

レインボープラザ（移転後は福岡市国際会館）において、在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

(ア) 外国人法律相談

法的慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行い、必要に応じて通訳を手配した。予約制で月2回(第1・3土曜日)開催した。

a 実施回数 20回

b 相談者数 44名(15か国)

(イ) 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関し、福岡県行政書士会と共催で正確な情報と助言を提供した。英語と中国語の通訳が常駐し、その他言語は必要に応じて手配をするが、H28年度は実績がなかった。月1回(第2日曜日)開催した。

a 実施回数 12回

b 相談者数 62名(20か国・地域)

(ウ) 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、臨床心理士が日本語または英語で行った。予約制で、週3回(月・木・土曜日)開催した。

- a 実施回数 延べ365回
- b 相談者数 44名(15か国)

(エ) 外国人健康相談

健康上の問題を抱えている外国人のために、健康相談をボランティア医師の協力により、医学的な助言、指導を日本語または英語で毎週水曜日に開催した。

- a 実施回数 49回
- b 相談者数 延べ22名(10か国)

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、財団が行う事業やレインボープラザ(移転後は福岡市国際会館)のPRを、福岡の外国語放送ラジオ局であるラブエフエムを通じて、英語・中国語・韓国語の3カ国語で広報した。

(ア) レインボープラザ・インフォメーション(3分番組)

※移転後は、フクオカシティ・インターナショナルセンター・インフォメーションに変更
財団が行うイベント情報や生活情報等を、毎月第2、第4週の月、火、水、土、日曜日に放送した。

放送回数 120回

(イ) スポットCM(20秒番組)

レインボープラザのサービスの紹介を、春秋(4、9、10、3月)に集中的に放送した。

放送回数 115回

エ 在住外国人のための日常生活アドバイス

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象とした自転車と交通ルール、ごみ出しルール、防犯に関する出前講座を行った。また、DVD、インターネット動画による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

(ア) 実施主体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、
福岡市(市民局、環境局、各区役所)、福岡県警察

(イ) 実施件数 35件

(ウ) 受講者数 1,184名

オ 福岡市国際会館管理運営

福岡都市圏の大学に在籍する外国人学生の世帯向けに比較的安価で良質な住居を提供するとともに、留学生及びその他の外国人と市民との交流並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供した。

(ア) 施設概要 4階 国際交流フロア(貸会議室等5室)
5階 世帯用宿舎(2DK5戸)
6-9階 単身用宿舎(1ルーム54戸)

(イ) 国際交流フロア 利用件数 2,722件
利用者 24,417名

カ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で、市民ボランティアの協力参加を得て日本語おしゃべりサロン、外国人学生が語るふるさとの街と福岡、外国人学生歓迎交流事業、あったかスポットギャザリングや情報普及事業を行い外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

- (ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- (イ) 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- (ウ) 実施時期 日本語おしゃべりサロン 毎月第1、第3木曜日 (601名参加)
外国人学生が語るふるさとの街と福岡 毎月第3木曜日 (328名参加)
外国人学生歓迎交流事業 平成28年11月3日に実施 (162名参加)
あったかスポットギャザリング 平成29年2月26日に実施 (12名参加)

④ グローバル人材を育成する事業

ア 福岡市レインボー留学生奨学金

国際交流活動や地域活動を通じた相互理解の深化に意欲のある優秀な留学生の学習環境を整え、留学生と市民との交流の機会を増やすことにより、地域の国際化と留学生と市民との相互理解に寄与するために奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 20,000円/月
- (イ) 支給人員 90名
- (ウ) 支給対象期間 1年間

なお、福岡市からの奨学金であることを認識し、福岡とのつながりを強く感じてもらうため、当該奨学金受給者に対し、受給証交付式を7月21日に実施した。

イ よかトピア留学生奨学金

福岡都市圏の企業との交流や就業体験を通じて海外高度人材の地場企業への定着と地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する優秀な留学生に、(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金により地場企業での就業体験を要件に奨学金を給付した。

- (ア) 支給金額 60,000円/月
- (イ) 支給人員 5名
- (ウ) 支給対象期間 1年間

ウ 留学生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を支給した。

- (ア) 支給金額 500,000円/年または300,000円/年 (寄付者の希望により決定)
- (イ) 支給人員 7奨学金、12名
- (ウ) 支給対象期間 寄付者の希望により決定 (1年単位以上)

エ 日本人大学生留学奨学金(スタートアップ奨学金)

日本人大学生の留学を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材として育成し、さらに福岡の国際競争力を強化する人材として福岡へ定着させるため、大学卒業後に福岡で創業・就職を希望する日本人大学生の交換留学へ奨学金を貸与した。

また、当該奨学金受給者の福岡での創業・就職を促進するため、地場企業との交流会、留学前・留学中・帰国後に就職活動支援や研修等を行うフォローアップ事業を実施した。

- (ア) 貸与金額 100,000 円/月
- (イ) 貸与人数 6名
- (ウ) 貸与対象期間 1年間(4名)、半年間(2名)
- (エ) 交流会 平成28年6月17日 参加企業10社
- (オ) 認定証交付式 平成28年7月19日
- (カ) 留学前研修 平成28年8月6～7日
- (キ) 留学中・帰国後のフォローアップ 個別に随時実施

オ 留学生と企業との交流サロン

福岡で就職を希望する留学生と、グローバル人材としての留学生に興味を持つ地場企業を対象に、普段着でざっくばらんな会話を通じ「生の留学生像」「企業が求める留学生像」「日本の企業文化」など、留学生と企業の相互理解を深める場として交流会を開催した。

- (ア) 共催 福岡県留学生サポートセンター運営協議会 他
- (イ) 実施日 平成28年11月22日、12月9日
- (ウ) 参加者 留学生44名 企業37社・48名、JICAボランティア経験者7名

カ 青少年相互派遣

海外の都市と青少年相互派遣を行うことで、青少年の異文化に関する相互理解を図るとともに、国際性豊かなグローバル人材の育成の機会を提供した。

(ア) 福岡・USオークランド青少年相互派遣

高校生がホームステイや学校体験等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供した。

平成28年度はUSオークランド市への訪問団を派遣した(隔年相互派遣)

- a 実施時期 平成28年7月29日～8月10日(13日間)
- b 人数 8名(高校生6名、引率者2名)

⑤ その他

ア 事務所の移転

福岡よかトピア国際交流財団事務局とレインボープラザを統合し、国際化推進拠点を一体化するため、福岡国際交流会館(冷泉ハーブビル内)1Fに事務所を移転した。

(ア) 移転元

財団事務局	福岡市中央区天神 1-10-1	福岡市役所北別館 5階
レインボープラザ	福岡市中央区天神 1-7-11	イムズ 8階
福岡国際交流会館	福岡市博多区店屋町 4-1	冷泉ハーブビル 4階, 5階

(イ) 移転先

新事務所	福岡市博多区店屋町 4-1	冷泉ハーブビル 1階
新事務所移転日	平成28年10月1日	

- (ウ) 名称 福岡市国際会館(旧:福岡国際交流会館)

(3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

※ 理事会及び評議員会の開催状況等

会議名	開催日	内 容
理事会	H28. 4. 1	議案審議（決議の省略による） ・ 理事・監事の選任に関する件
評議員会	H28. 4. 1	議案審議（決議の省略による） ・ 理事・監事の選任に関する件
理事会	H28. 4. 1	議案審議（決議の省略による） ・ 専務理事の選任に関する件
理事会	H28. 5. 30	議案審議 ・ 平成 27 年度事業報告及び決算に関する件 ・ 特定資産の廃止及び特定資産の組み入れに関する件 ・ 定時評議員会の開催に関する件
評議員会	H28. 6. 27	報告 ・ 平成 27 年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・ 平成 28 年度事業計画及び収支予算に関する件 議案審議 ・ 平成 27 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件 ・ 定款の一部変更に関する件
理事会	H29. 1. 31	議案審議（決議の省略による） ・ 福岡県公益認定等審議会への報告に関する件
理事会	H29. 3. 14	報告 ・ 決議の省略に関する件 議案審議 ・ 平成 29 年度事業計画及び収支予算等に関する件 ・ 特定資産(建物修繕積立資金)の保有に関する件 ・ 特定資産(八頭司留学生育英奨学金積立資金)の保有に関する件